

中販連 だより

2002
創刊号

中国地域指定生乳生産者団体 中国生乳販売農業協同組合連合会 機関誌

発行 ● 中国生乳販売農業協同組合連合会 編集・発行人 ● 鍵山信儀
 〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀8番23号林業ビル4階
 TEL082-511-3371 FAX082-511-3399



CONTENTS

- 創刊にあたり ● 代表理事長 山崎博文
- 酪農乳業懇談会の開催 ● 11月22日開催
- 平成14年度乳価交渉 ● 現況と課題
- 生産者戸数 ● 飼養頭数 ● 販売実績
- 役職員紹介 ● 委員会委員
- 機構図 ● 編集後記

Chugoku Fresh Milk Sales-Agricultural Cooperative Association

創刊にあたり

代表理事長 山崎博文



設立後二年近くの歳月が瞬く間に過ぎて行き、皆様方からご指摘を受けながらも日々の業務に追われて延び延びとなっていた、本会の機関誌が漸く発刊の運びとなつた。

平成十二年度を期限とした「広域指定団体」設立の畜産局長通達が出されてから何年が経過したことか。

平成十三年四月、地域全体で年間350千㌧の受託生乳を域内外五十数社へ販売していくという業務、各県各様に永い歴史のなかで構築してきた体制をどの様に一本化し、地域酪農家の負託に応えて行くのかという大きな命題を抱えつつ、本会は手探りで歩き始めたわけであり、従来の各県体制を踏襲しつつも中国地域、ブロックとして

の新たな視点・考え方を持ち、ブロック指定団体として激変する社会に遅れず、激化する社会環境にも耐えうる酪農業の更なる発展に向け、機能し得る組織を目指していく所存であります。

新たな発想での新たな体制の構築には、若干の痛みが伴う局面が在るやも知れませんが、私どもを支えていただいている皆様方のご理解を得ながら良き物は守りつつ、新たな息吹・新たなる力を備えて、時には大胆に、時には慎重にその歩を進めてまいりたいと思つております。

さて、今後は本機関誌を定期的に発行し、出来るだけタイムリーな情報を皆様方にお繋ぎするとともに、本誌が域内酪農家をはじめ関係組織の更なる連帯・結束の強化に寄与出来ればと思つております、何分職員が手造りで進めている事であり、皆様方から色々とご批判を頂きながら、本誌も本会と同様に良い物に育てて頂きたく、創刊にあたってお願い申し上げます。

去る、十一月二十二日に広島市内のホテルで、中国地区管内の生産者団体・乳業メーカーを対象に本会の主催により酪農業懇談会が開催された。六生産者団体、十三乳業メーカーより四十名の参加があった。昨年に続き、二回目の開催となり、本会の概況報告や生産者団体と乳業メーカーの情報交換を目的として行われている。

講演に先立ち、本会の概況について鍵山参事より、生乳生産状況や用途別処理量の推移等の報告がなされた。

今回は酪農乳業情報センターより事業推進委員長の岩倉捷之助氏を講師として招き、同情報センターの役割と活動状況、乳業の課題や今後の酪農・乳業の共生のありかたについて講演を受けた。

※酪農乳業情報センターとは平成十二年度の「不足払い法」の改正に伴い、今後の生乳取引に関する基本的なルールの形成、及び

酪農乳業の共通課題の解決に向けての場として平成十三年四月に設立された。

酪農乳業懇談会開催される



乳価交渉の現状と課題

四半世紀振りの値上げに光明

広域指定団体にとって今年度は四半世紀に亘り低下基調にあった飲用向け乳価の潮流に敢然と立ち向かう年となりました。

デフレ経済下の値上げにつき難航が予測された交渉は、ようやく九月終盤に至り転機を迎えるました。

以下、途中経過ではありますが今年度の乳価交渉の現状と課題について紹介いたします。

中販連は統一乳価を要求

今年度の乳価は全国酪農組織を挙げた行動となることから中央団体での情勢分析が行われました。

疑心暗鬼渦巻く乳業界 …地方交渉は停滞

酪農経営分野からBSE影響及び糞尿処理施設への投資の一要因を算入した要求乳価はキログラム当たり十円の引き上げとなります。最終的に消費者負担となることから二要因については政策に求める事となり

ました。

その結果、この二要因を除く生産コスト上昇分の五円相当が要求相場として認識されることとなりました。

さらに中販連としては五県の既存の販売方法の整備を推進する観点から、販売用途の整備及び飲用向け用途の乳価を100円とする統一乳価を打ち出しました。

そして生乳受託販売委員会(以下、販売委)での協議・承認を得て今年三月二十九日の乳業者への要求を皮切りとしていよいよ四半世紀振りの乳価引き上げ交渉の火蓋が切って落とされました。

乳業者の回答に独白色 …再開した地方交渉も相場浸透難

明治乳業の回答は全国一律でなく五十ハーソンの範囲で取引先指定団体ごとに異なるものでした。

中販連への回答は最高額の八〇銭、十月一日から飲用向け用途に適用する旨が提示されました。

このような動きを受けて、十月三日に中販連販売委を開催しました。交渉

このため、生産者側は乳業者の市場正規化の遂行を待つ状態となりました。しかし、デフレ経済下における量販店等のガードは固く、過当競争状態にある乳業界には疑心暗鬼が渦巻いており不毛の時間が経過することとなりました。

このため、交渉の山場は夏季需要期に置き、生産者は乳業者に代わって量販店に業界の窮状を訴求するかつてない運動を行うとともに、中央段階では全国連が大手乳業に対し九月内の回答引き出しを図る等、最大の山場を迎えました。

その結果、九月末に至り明治乳業より全国連(全農)及び取引先指定団体に有額回答が提示されました。

十月一日遡及及び要求乳価実現を不退転とする交渉を継続

中販連としては先の販売委員会の決定を受けハーハー銭の相場浸透交渉を継続中であります。

このような中で域内乳業者に対しては決定段階においては十月一日への遡及適用の確認を申し入れております。

合わせて重要なことは、当初要求の統一乳価の実現こそが究極の目的であり、引き続き強力な交渉に取り組む所存であります。

会員別出荷戸数

飼養頭数

		平成13年度 A	平成14年度 B	対 比	増減 B-A
				対 比	
出荷農家戸数	鳥 取	281 戸	273 戸	97.15%	-8 戸
	島 根	259	251	96.91%	-8
	岡 山	590	577	97.80%	-13
	広 島	272	264	97.06%	-8
	山 口	116	109	93.97%	-7
	(小 計)	1,518	1,474	97.10%	-44
経産牛頭数	鳥 取	6,904 頭	7,055 頭	102.19%	151 頭
	島 根	7,571	8,166	107.86%	595
	岡 山	16,879	16,229	96.15%	-650
	広 島	7,792	7,732	99.23%	-60
	山 口	2,663	2,736	102.74%	73
	(小 計)	41,809	41,918	100.26%	109
乳牛頭数	鳥 取	3,136 頭	3,408 頭	108.67%	272 頭
	島 根	2,645	3,000	113.42%	355
	岡 山	6,844	5,627	82.22%	-1,217
	広 島	2,444	2,167	88.67%	-277
	山 口	1,186	1,240	104.55%	54
	(小 計)	16,255	15,442	95.00%	-813
未経産牛頭数	鳥 取	10,040 頭	10,463 頭	104.21%	423 頭
	島 根	10,216	11,166	109.30%	950
	岡 山	23,723	21,856	92.13%	-1,867
	広 島	10,236	9,899	96.71%	-337
	山 口	3,849	3,976	103.30%	127
	(合 計)	58,064	57,360	98.79%	-704

※会員上期調査の集計による

平成14年度 会員別
生乳受託販売実績

	第1四半期		第2四半期		累計	
	(4月～6月)	前年比	(7月～9月)	前年比	(4月～9月)	前年比
大山乳業農協	14,978,544.8	102.8	13,994,323.4	104.3	28,972,868.2	103.5
全農島根県本部	16,733,288.2	100.3	15,406,992.3	101.6	32,140,280.5	100.9
岡山県酪連	34,766,653.5	99.2	31,286,629.8	100.5	66,053,283.3	99.8
広島県酪農協	16,856,878.5	97.1	16,165,688.2	98.3	33,022,566.7	97.7
山口県酪農協	6,688,447.0	99.9	6,026,137.0	105.9	12,714,584.0	102.7
合計	90,023,812.0	99.6	82,879,770.7	101.3	172,903,582.7	100.4

平成14年度
用途別販売実績

	第1四半期		第2四半期		累計	
	(4月～6月)	前年比	(7月～9月)	前年比	(4月～9月)	前年比
飲用牛乳向け	76,120,692.9	97.9	71,085,645.6	99.8	147,206,338.5	98.8
はつ酵乳等向け	9,942,832.1	119.5	9,859,035.1	113.7	19,801,867.2	116.5
特定乳製品向け	2,707,450.0	98.4	1,224,122.0	111.6	3,931,572.0	102.2
生クリーム等向け	1,200,269.0	82.7	661,284.0	81.8	1,861,553.0	82.4
チーズ向け	52,568.0	102.1	49,684.0	91.6	102,252.0	96.7
総受託販売乳量	90,023,812.0	99.6	82,879,770.7	101.3	172,903,582.7	100.4

中国地方の
生乳生産量の
推移



